

# 令和元年度 第1回医療・介護従事者研修会 アンケート集計結果

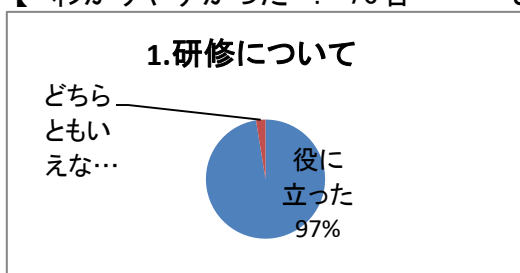
○参加者:89名

○アンケート回収率:87.6% ( 回答者:78名 )

内訳: 医師	2名	生活相談員	1名
薬剤師	6名	介護福祉士	1名
臨床工学技士	2名	管理者	1名
看護師	19名	サービス提供責任者	1名
保健師	1名	ケアマネジャー	30名
理学療法士	6名	訪問看護ステーション事務	1名
作業療法士	3名	未記入	3名
言語聴覚士	1名		

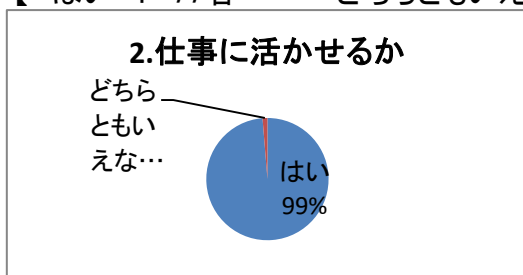
1. 研修についてのご感想をお聞かせください。内容はいかがでしたか？

【 わかりやすかった : 76名 ・ どちらともいえない : 2名 】



2. 研修の内容は、お仕事に活かせそうですか？

【 はい : 77名 ・ どちらともいえない : 1名 】



3. 上記の質問1～2の理由をご記入ください。

- ・ ペーパー資料があれば良かった。
- ・ 腎不全について、とても分かりやすく説明して頂いた、良かったです。医師以外の他の医療職にも良かったのではないかな。
- ・ チーム医療や在宅についても触れて頂いた講演だった。
- ・ 初歩的な内容の説明から、現在の透析で変わってきている事まで教えていただいたので、確認やなるほどと思えることもあったから。
- ・ 仕事に必要な知識の復習ができた。
- ・ おすすめ方が早く、ついていけなかった。
- ・ 丁度、糖尿病性腎症の透析患者がいらしたので、勉強になりました。
- ・ PD患者さんへの訪問看護の有効性がわかりやすかった。
- ・ 訪問リハビリで透析利用者が居る為、知識を得ることができた。
- ・ 基本的な内容と具体的な内容のメリハリがわかりやすかった。
- ・ 当院にも透析室があり、透析患者さんに対してリハビリをする機会も多いから。
- ・ 透析は血液透析と思っていたのですが、腹膜透析の利点も知れて勉強になった。
- ・ HD患者さんの生活指導

- ・ なかなか食事制限できない方への声のかけ方
- ・ とてもわかりやすく、説明の仕方がすばらしかった。
- ・ 腎不全についての生活指導ができそうだから。
- ・ 生活指導の目安がわかりやすかったです。
- ・ 血圧とかタンパク尿とか患者さんに説明できる。
- ・ 患者さんに紹介できる。
- ・ 食事・生活指導について、患者さんの服薬指導時の説明に役立てそうです。
- ・ 最近、透析の患者対応をするケースが出てきた。これからもっと透析の勉強をしたかったのだ。
- ・ 腎臓はくすりのチョイスも難しい。大変勉強になりました。
- ・ 田村先生のお話がとてもわかりやすかったです。
- ・ 分かりやすかったが、資料がほしかった。
- ・ 腹膜透析のことは殆ど知らなくて「むずかしい」と思っていたけど、色々を知ることができて「良いこと」があるのだと知りました。
- ・ 透析について詳しく知ることができた。
- ・ 訪問看護に携わっており、在宅介入の方法など制度を踏まえ教えて頂き、良く分かりました。
- ・ 食事指導の現在の内容、必要性を改めて確認することができました。
- ・ PDの利用者様の訪問時に利用者様に提案しやすい。
- ・ 食事の内容等もふまえ考えることができました。
- ・ HD患者に指導する上で、根拠も一緒に説明することが出来そうです。
- ・ 高血圧の治療の重要性、P・Kの高い患者さんの指導、透析患者さんの低栄養に注意する事等
- ・ 栄養指導の内容が10年前と少し違ってきたと感じていた所だった。今回その理由がわかった。
- ・ 利用者さんに腎疾患の方が多くいる為
- ・ テンポよく説明され、聞き取りやすかった。
- ・ 退院間もない透析の利用者がいるので、透析への理解が深まった。
- ・ 近い将来に透析になりそうな担当がいる。
- ・ 間違った食事管理をしている可能性など、もう一度生活、食事についてみなおす機会になりました。患者様と一緒に考えていきたいです。ありがとうございました。
- ・ 担当利用者に患者がいる。
- ・ 現在、腹膜透析をされている利用者様の担当をし、訪問看護さんにも3/W自宅で手技をして頂いているため、とても勉強になりました。
- ・ 担当利用者に腎不全の方がいる為
- ・ 詳しくうかがえたのが初めてで、とても分かりやすかった。
- ・ とても分かりやすい説明でしたが、資料がやはりふりかえりをするためにほしかったです。
- ・ 在宅で透析をされる方への支援がよく分かった。
- ・ 説明が体系立ててわかりやすかったです。
- ・ 具体的にご説明頂き、とても理解できました。

4-①. 腎疾患をお持ちの方を担当するにあたり、気になることや不安に思うことは何ですか？《複数可》  
【医師】

- |             |       |
|-------------|-------|
| ① 疾患や病状について | — 39名 |
| ② 体調管理について  | — 42名 |
| ③ 食事や水分について | — 59名 |
| ④ 入浴について    | — 4名  |
| ⑤ その他       | — 9名  |
- ・ 栄養・服薬管理
  - ・ まず自分で勉強します
  - ・ 内服薬
  - ・ 薬の用法、用量
  - ・ シヤントの管理(シヤント音)について
  - ・ PDの管理について
  - ・ ADL低下で要介護状態の人が入れる施設がない。通院手段や料金負担の調整
  - ・ 利用者によって様々
  - ・ 理解度→高齢になると認知症が…

4-②. そのようなときの対応や確認先についてお聞かせ下さい。

<医師>

HD透析後のだるさ、倦怠感について(しょうがないとは思いますが、対策あるのでしょうか?)

#### <薬剤師>

- ・ インターネット、医学書
- ・ 検査値の確認
- ・ 病院に確認します。
- ・ 本やネットで調べる。腎症の食事については本が少ない。
- ・ どちらかというと今まで病院等で行っていた食事指導等をもとに、対応・指導してきましたが、今回の研修で改めて、適した栄養摂取も考える必要があると思いました。
- ・ 医師や先輩看護師に確認
- ・ 疾患や病状について＝医師 食事や水分について＝医師、栄養士
- ・ 常勤Drや先輩Ns
- ・ 主治医への報告
- ・ 往診医にこまめに連絡を行う。
- ・ CMIに相談
- ・ 主治医又はかかりつけ医に相談

#### <保健師>

- ・ 本人、家族に医師からどのような説明を受けているのかを確認する。
- ・ 直接医師(医療機関)に確認する。

#### <理学療法士>

- ・ 訪問看護やかかりつけ医に相談する
- ・ Nsへ相談
- ・ どの程度の好きな食事をとって良いのか、vitalまでは主治医へ確認する。

#### <作業療法士>

- ・ 透析後は疲労が強いので、リハビリは軽めでしかできない。食事や水分制限もあり、楽しみがなくなっている印象があります。
- ・ Dr、Nsの指示に合わせた対応するようにしています。
- ・ 運動負荷、強度、血圧、リスクを主治医に問う。

#### <言語聴覚士>

- ・ 透析Dr

#### <ケアマネジャー>

- ・ 本人、ご家族
- ・ 水分は本人が管理されている。
- ・ 目視、質問
- ・ 病院(透析室)
- ・ 主治医に相談を行う。必要に応じて主治医から本人へ助言、指導をして頂く。
- ・ 介護者(若いしっかりした家族)
- ・ かかりつけ医、訪問看護ステーション
- ・ 施設仲介サービスにTel 今まで受け入れている実績のある施設にTel
- ・ ヘルパー事業所
- ・ ネットで調べる
- ・ 主治医、看護師さんに確認する。
- ・ どの程度で連絡・助言を求めたらよいか。

#### <その他職種>

- ・ 医師
- ・ 家族の方へ確認・報告
- ・ ご本人の受診先

#### 5. 今回の研修聴講で、講師にもっと尋ねたいことや詳しく聞きたい内容があればご記入ください。

- ・ とても分かりやすく勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 抜粋でよいので、配布資料があればもっとよかったです。
- ・ 血液透析から腹膜透析へ変更は可能なのでしょうか。
- ・ 在宅へはどの程度力を入れられているのか。
- ・ 腎へのダメージを減らすため、尿酸値はどのくらいに抑えるべきですか？
- ・ 腹膜透析はずっとできますか。腹膜が傷んでしまうと血液透析にうつることにことになりますか？
- ・ 薬の使い方を聞きたいです。
- ・ 腹膜透析月2回、仕事をしながらでも透析できるというのはとてもいいと思いますが、細菌感染や自己管理が難しいと思います。慣れるまでどれくらいかかりますか。
- ・ 透析後の運動負荷・強度、血圧の管理、リスクについて細かく知りたい。

- ・ 資料がほしいです。
- ・ 血圧との関係 食事
- ・ APD(自動腹膜透析)をした場合、夜間にトラブルはない？外れたり、停電時は？
- ・ パワーポイントの資料があるともっと良かったです。メモが間に合わないの…。
- ・ 心不全と腎不全が有る患者さんがむくみがひどく、利尿剤でなかなかひかない方が多いのですが、何か有効な方法等あれば知りたい。
- ・ 腎不全にならない生活、注意点(治療前)、腎不全と疑われる様な症状があれば
- ・ 腹膜透析についてもっと深く知りたい

6. 今後、研修会でテーマに挙げてほしい内容やご意見・ご要望があればお聞かせ下さい。

- ・ 救急看護、急変時の対応
- ・ 心疾患や脳疾患について
- ・ 高尿酸血症
- ・ 知的障害、適応除外施設を退所。どのように支援したら良いのか
- ・ ターミナルケア
- ・ 運動療法
- ・ 開催時間18:30や18:45～で20:00おわりが助かります。
- ・ 今回の様に疾患について専門医よりの研修に参加したい。
- ・ リハビリ、糖尿病について

7. 区内を細分化して、事業所近辺で研修会を行う場合、参加可能な時間帯の希望をお聞かせ下さい。

- |          |     |                 |
|----------|-----|-----------------|
| ① 13時    | 7名  |                 |
| ② 15時    | 7名  |                 |
| ③ 18時30分 | 43名 |                 |
| ④ 19時    | 31名 |                 |
| ⑤ その他    | 1名  | (・ 開催時期によって異なる) |

8. 北九州医療・介護連携プロジェクト会議(病院窓口ガイドや北九州とびうめネット連携事業など)をご存知ですか？

- |              |     |
|--------------|-----|
| ① 既に知っている    | 18名 |
| ② 名前程度は知っている | 34名 |
| ③ 初めて知った     | 24名 |
| ④ 無記入        | 2名  |